

## 中央線沿：甲州高尾山

- ◆日程 2018年3月17日(日)
- ◆メンバー L：大塚
- ◆天候 曇り時々雪

まだ行ったことのない山のうち、日帰りで行けて標高1000m超で6がつくということで選んだ。この時期は、晴れていれば富士山や南アルプスの展望がよいと評判である。当初予定した土曜日は雨の予報だったため、翌日に延期した。それでも午後に天気が崩れ始める予報のため、早目に行動することにした。

勝沼ぶどう郷駅から葡萄畑の中を南下する。当然葡萄はまだ葉を付けていない。30分ほどで甲州高尾山の麓に着く。当初は山の南に回り込んだ大善寺から入山する予定だったが、地形図ではその手前の西側にもルートがある。ここから近く傾斜も急ではないため時間短縮になると考えたが、甘かった。そこに登山道は見当たらず、点々と獣の足跡があるだけ。上の方では猪の親子らしき影が走り去るのが見える。それでも、前の週に小林義雄さんらと登った三峰山の切り立ったバリエーションルートを思えば何とかかなと判断。手に擦り傷を負いながら尾根に出たが、さして時間短縮にはならなかった。その後は歩きやすいルートになりホッと一息。

甲州高尾山(1106m)に着いてみると日差しはあるものの雲が多く、富士山も見えない。天候が心配なので、先を急ぐ。気持ちの良い尾根でアップダウンを繰り返すうちに富士見台へ。ここでも富士山は雲の向こう。次いで山梨百名山の棚横手山(1306m)、大滝山(1362m)とピークハント。棚横手山までピストンしたところでお昼ご飯にした。日当たりが良く気持ちよい。

再び歩き始めた途端、日差しが消え、小雪が舞い始めた。富士見台分岐から下り、雪がやんだ頃に大滝不動尊に着いた。冬は見事な氷瀑となるらしいが、既に殆ど溶けていた。ひとしきり境内の滝を見物してから再び帰途に就く。ここから先は退屈な一般道。電車が一時間に一本なので途中走りながら予定よりも早く駅に戻った。

それにしても、途中出会ったパーティーは5組だけ。東京の高尾山とは別世界のような静けさを満喫できる山旅だった。

(記：大塚)

CT：勝沼ぶどう郷駅 8:10 - 甲州高尾山 10:20 - 富士見台分岐 11:00 - 棚横手山  
11:20 - 大滝山 11:40 - 棚横手山 12:00/12:30 - 富士見台分岐 12:40 - 大滝  
不動尊 13:10 - 勝沼ぶどう郷駅 14:05

